

お元気でいらっしゃいますか？

ドイツは、相変わらず零下の寒い日が続いていますが、数日前から、外では春を待つ鳥たちのさえずりが聞こえ始めました！未だ、白い雪に包まれているハンブルクですが、春が近くまでやってきている気配を感じています。



●レント

今日は「灰の水曜日」Ash Wednesdayです。「灰の水曜日」とは、灰をかぶって悔い改めを始める日、という意味です。ヨーロッパのキリスト教会暦では、この「灰の水曜日」から、つまり今日から「レント」（受難節）が始まります。レントと呼ばれるようになったのは、ゲルマン語 lengten（日が長くなる季節＝春）から来ているそうです。レントは、イエス様が十字架につけられるためにエルサレムに入場した「棕櫚の日曜日」Palm Sunday まで、40日間続きます。このレントの時期を、ドイツ語では、Fastenzeit（断食の時）とも言います。昔の信仰者たちは、クリスマスの4週間前から始まるアドヴェントの時を、悔い改めをもって救い主を迎える心の準備をしたように、レントの時を、灰をかぶって悔い改め、断食と祈りをもって、受難週を迎える備えをしたのだそうです。

期間が40日なのは、イエスラエルの民の荒野の苦難が40年であったこと、そして、キリストが40日間、荒野で断食されたことに倣ったことだそうです。今では、いにしえのような形で、40日間断食、節欲をする信仰者はほとんどいないと思いますが、それでもいくつかの教会、キリスト教団体では、この期間を特別な祈りの時としています。

私事ですが、前号でもお伝えしたように、「マタイの福音書」の学びを続けています。かなり昂奮しています。3年かかった黙示録と創世記の学びでは、マスタープランの「外枠」が見えてくるようになり、聖書全体を通して主が啓示してくださった、救いのご計画と神の御国の素晴らしさに、ほんとうに感動しました。しかし、今度は、マタイの福音書の学びを通して、外枠の中に、「骨組み」が、少しずつですが、しっかりと形づくられて行くのを感じています。



今、17章まで来たところです。17章は、イエス様が私たちの罪を贖うために十字架につく数カ月前あたりと思われる。イエス様が、ご自分がいなくなった時、使徒行伝の時代（教会の時代）に備えるために、愛と忍耐をもって、エネルギーを注いで訓練しておられる箇所です。学びながら、弟子たちと同じように、主の御心を悟りきれない弱さを持った自分もそこにいて、主の訓練を受けているような思いになっています。

弟子訓練は、十字架に向かって、クライマックスに向かって行きます。ヨハネの福音書13章1節では、過ぎ越しの祭りの前に、この世を去って父のみもとに行くべき自分の時を知らされたイエスが、愛する者たちに、その愛を残すところなく示された（ルター訳では、最後まで愛し抜かれた）と書いてあります。ヨハネは、そのキリストの愛を、福音書、また書簡においても、あまねく記載しています。その愛が、マタイの福音書と重なり合っただけに見えるようになりました。

そして今週に入ってから、私は、弟子訓練とは、キリストの弟子たちへの愛の結晶であることをひしひしと感じるようになりました。キリストの弟子の群れの教会になることを目指して、25年も弟子訓練を受けて来た私ですが、弟子訓練とは、まず苦しまなければならぬもの、愛はそれから、という思いの方が大きかったように思います。でも、今、弟子訓練とは、みことばを通して、主が溢れんばかりに与えてくださる愛に応答してゆくものであることが見えてくるようになりました。キリストの絶大なる愛に触れる時、その愛への応答は、大胆にキリストを証したステパノのように、苦しみと圧迫も、さらには殉教への恐れさえも越えたものとなって行くことを思わされています。

今年のレント、マタイの福音書を学びながら、主の十字架に向かって、日々、みことばに従う者＝主の愛に応答する者とさせていただきたいと思っています。

●ミャンマーの小学校完成！



・昨年 10 月のチャリティーコンサートの収益金から 50 万円を、ミャンマーのミッションにお捧げしましたが、その資金で、サイクロン被災以来、学校を再建することができないでいた Y 村に、小学校建設が始まりました。小学校は 12 月に完成し、1 月から子供たちが新しい校舎で学びを始められるようになりました！ここの子供たちが、聖書の教えに導かれ、キリストにある成人と育て上げられ、この国の福音宣教を前進する働きを担って行く者として巣立って行きますように！

・コンサート後に AKMM の口座に入金されたミャンマー献金 22880 円は、先に M 村に建設された小学校に送られ、不足していた机と椅子を購入することが出来たと言うお礼のお手紙をいただきました。ご協力くださいました皆様、お祈りくださった皆様に、紙面をお借りして心からお礼申し上げます。しかしながら、ミャンマーでは、サイクロン後の復興が未だに遅れている状態です。AKMM では、引き続き、ミャンマー復興支援献金を受け付けています。お心のある方は、どうぞメールにてご一報ください。

●お祈りください

- ・膝の回復のために。（ひどくはないのですが、回復に時間がかかっています。）
- ・学びと祈りの時の祝福のために、
- ・3 月 4 月のコンサートの準備のために。

皆様も、主のご愛に満ち溢れるレントの時を過ごされますように！

主の祝福を心からお祈りしています。

工藤篤子

